

つながる、
ひろがる、
つよくなる。



北海道イノベーションプラットフォーム

北海道立総合研究機構

北海道中小企業総合支援センター

北海道貿易物産振興会

北海道信用保証協会

紹介動画はコチラ



つながる、ひろがる、

4つの**連携機関**のチカラをつなげて、ひろげて、

道内事業者の経営革新や事業再構築、新技術開発などイノベーションへの取り組みを推進するために、4つの支援機関が連携し「北海道イノベーションプラットフォーム」を設置しています。それぞれが持つ機能・ノウハウを連携することにより、より効果的により効率よく機能させ、事業者のイノベーションへの取り組みを全面的に支援します。



つよくなる。

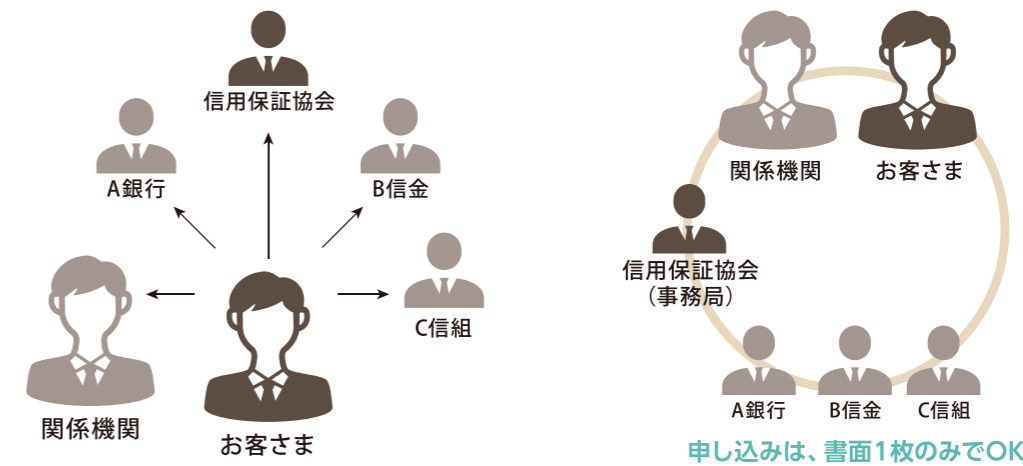
事業者のみなさんのチカラをつよくなる。

経営サポート会議とは

取引金融機関等の関係機関が一堂に会し、必要な経営支援と金融支援について意見交換を行う会議です。

個人では、それぞれに説明しに行くのも、意見の集約も大変

経営サポート会議を行うと一堂に会した相談が可能



ご利用のメリット

- 金融機関・関係機関が一堂に会することから、それぞれの機関に相談を行う手間が省けます。
- 関係機関が一堂に会し意見交換を行うことで、より的確なアドバイスを受けることができます。
- 信用保証協会が会議開催の日程調整を行うため、お客さまの負担軽減につながります。

活用の場

下記のような場合に、ご活用いただいております。

- 創業計画や経営改善計画の説明
- 新規借入の相談
- 返済条件の見直しの相談
- 経営支援等の相談




WEB利用による
オンライン会議も
対応しています。

構成機関の紹介

北海道イノベーションプラットフォームは、サポートパートナーとして北海道、57の構成メンバーからなる北海道中小企業支援ネットワークの全面バックアップを受けています。

幅広い分野の技術支援



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

5つの研究本部・21の試験場を有する
総合試験研究機関

支援内容

- 農業、水産、森林、産業技術(工業・食産業)、エネルギー・環境・地質及び建築・まちづくりの幅広い分野の専門家集団
- 研究成果、技術開発に基づく知見を生かした技術支援・指導の実績
- 大学、国等の研究機関や業界とのネットワーク

組織概要

名称	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(略称:道総研)	
設立時期	平成22年(2010年)4月	
主たる事務所	札幌市北区北19条西11丁目 (法人本部) 北海道総合研究プラザ	


農業研究本部	(長沼町)	水産研究本部	(余市町)
●中央農業試験場	(比布町)	●中央水産試験場	(函館市)
上川農業試験場	(北斗市)	函館水産試験場	(釧路市)
道南農業試験場	(芽室町)	釧路水産試験場	(網走市)
十勝農業試験場	(訓子府町)	網走水産試験場	(稚内市)
北見農業試験場	(中標津町)	稚内水産試験場	(室蘭市)
酪農試験場	(新得町)	栽培水産試験場	さけます・
畜産試験場	(滝川市)	内水面水産試験場	(恵庭市)
花・野菜技術センター			

森林研究本部	(美瑛市)	産業技術環境研究本部	(札幌市)
●林業試験場	(旭川市)	●工業試験場	(江別市)
林産試験場		食品加工研究センター	(札幌市)
		エネルギー・環境・	
		地質研究所	

建築研究本部	(旭川市)		
●北方建築総合研究所			

●研究本部設置場所 令和6年(2024年)4月1日現在

経営の総合コンサルティング



公益財団法人
北海道中小企業総合支援センター

経営革新・創業・経営資源の確保・強化に
関する事業活動を支援

支援内容

- 総合コンサルティング
- 専門家派遣
- 地域資源活用、新事業展開などへの助成
- 商談会や取引マッチングなどの販路開拓支援
- 設備導入時の割賦、リースによる支援


組織概要

名称	公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター	
設立時期	平成13年(2001年)4月	
主たる事務所	札幌市中央区北1条西2丁目2番地 北海道経済センター9階	

経営相談窓口

■札幌本部(経営支援部)		
■道南支部(函館市)	■十勝支部(帯広市)	
■釧路支部(釧路市)	■道北支部(旭川市)	
■日胆支部(室蘭市)	■オホーツク支部(北見市)	

貿易振興と販路開拓



一般社団法人
北海道貿易物産振興会
Hokkaido Boeki-Bussan Shinkokai

北海道産品のアンテナショップ
「北海道どさんこプラザ」運営

支援内容

- 道産品の販路開拓を行う専門機関
- 国内外での商品販売ノウハウ
- 国内外の流通バイヤーとのパイプ
- 貿易振興、海外展開
- 豊富な商品データ


組織概要

名称	一般社団法人 北海道貿易物産振興会	
設立時期	昭和39年(1964年)7月	
主たる事務所	札幌市中央区北1条西2丁目2番地 北海道経済センター1階	

どさんこプラザ店舗等一覧

■札幌店(JR札幌駅西通り北口)	(札幌市)
■あべのハルカス店	(大阪市)
■奈良店	(奈良市)
■シンガポールミレニアウォーク店	(シンガポール)
■シンガポールグレートワールドシティ店	(シンガポール)
■バンコクサイアム高島屋店	(バンコク)
(サテライトショップ)	
■コープさっぽろ倶知安店	(倶知安町)
■コープさっぽろ湯川店	(函館市)

事務局 金融支援と経営支援



北海道信用保証協会

道内10拠点でカバー
公的信用保証機関

支援内容

- 公的信用保証機関
- 創業や事業活動、事業承継などの融資の円滑化
- 専門家派遣等の経営支援
- 道内金融機関や中小企業支援機関、経済団体とのネットワーク

組織概要

名称	北海道信用保証協会	
設立時期	昭和24年(1949年)4月	
主たる事務所	札幌市中央区大通西14丁目1番地	

本店・支店

■本店	■函館支店	■帯広支店
■北見支店	■小樽支店	■旭川支店
■釧路支店	■室蘭支店	■滝川支店
■苫小牧支店		

各種ご相談、お問い合わせは どの機関からでも受付可能です

HPはコチラ




技術的な課題をサポートします

<https://www.hro.or.jp/>

HPはコチラ




<https://www.hsc.or.jp/>

HPはコチラ




<https://dousanhin.jp>

HPはコチラ




<https://www.cgc-hokkaido.or.jp>



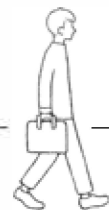
左から順に、宮口 晃一さん 大阪 匡史さん 川村 洋平さん

街を、ビールで明るく照らす。

2022年にオープンした、札幌の新しいクラフトビール醸造所&タブルーム「Streetlight Brewing(ストリートライト・ブルーイング)」人と人をつなげるビールのチカラでつながった3人が、ビール造りを真ん中に置きながら、人も街も楽しく照らす場づくりを目指している。

~History~

開業までの道のり



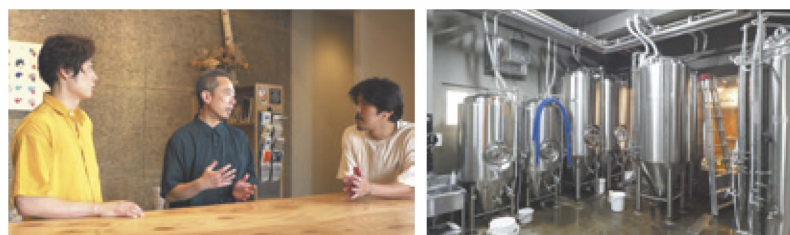
01 / 三者三様のビールへのアプローチ /

「Streetlight Brewing(ストリートライト・ブルーイング)」を運営する「合同会社札幌醸々(じょうじょう)」は、代表社員3人のユニークな経歴と個性が魅力のひとつ。特にクラフトビールとの出会い、アプローチが三者三様なのです。

会社のマネジメントと企画・デザインを担当する大阪匡史さんの前職は、フリーランスのコピーライター。札幌のまちづくりに携わる中で、札幌の姉妹都市であるアメリカ・オレゴン州ポートランド市のまちづくりに興味を持ち、そこからビールで地域の賑わいを創出したいという思いが芽生えたといいます。

醸造を担当するのは、川村洋平さん。クラフトビールの世界では、その名をよく知られる「ファントムブルワー」の第一人者です。ファントムブルワーとは、醸造所を持たない醸造家のこと。川村さんは自身のブランド「Hobo Brewing(ホーボー・ブルーイング)」を持ち、国内外の醸造所を借りて、あるいはコラボレーションしてビールを造るほか、道内外のクラフトビール醸造所の立ち上げにも協力。現在も両ブランドのビール醸造を手がけています。

営業と店舗のマネジメントを担当する宮口晃一さんは、前職が公務員という異色の経歴の持ち主です。在職中に胆振東部地震の復興支援ビール造りに携わるなど、クラフトビールが結んだ縁がきっかけで退職。ビール伝道師「ビール王子」として情報発信やイベントプロデュースなど、ビールと人をつなぐ幅広い活動をしてきました。



02 / ポートランドでつながった3人の思い /

異なるバックボーンを持つ3人をつないだのは、ポートランドでした。ポートランドはクラフトビールの醸造所が多いビール天国として世界中から注目を集めていました。

ポートランドの地域活性化に興味があった大阪さんは、2017年にポートランド州立大学のまちづくり人材育成プログラムに参加。「滞在中に印象的だったのは、地域の住民が老若男女、ビールを飲みながら楽しんでいること。ビールがまちづくりのツールになることを実感しました」と当時を振り返ります。その後、宮口さんも同じプログラムに参加し、「ビールを起点にみんなが楽しめる場づくりをしたいという思いが高まった」と話します。

大阪さんは2019年の札幌・ポートランド姉妹都市提携60周年の記念ビールを造る事業を企画し、そのビールを醸造したのが川村さんでした。また、宮口さんは両市をリアルタイムでつないで記念ビールで乾杯するイベントを開催。ポートランドとビールの求心力で、3人の思いが近づいていきました。



03 / 気持ちも街も明るくなるような、おいしい「街灯」づくりを /



ビールを軸に地域の賑わいを醸成し、札幌のビールカルチャーを盛り立てていきたい。その思いを共有した大阪さんと川村さんがブルワリー開設に向けて準備を進める中、宮口さんも加わり、2021年に合同会社札幌醸々を設立しました。

規模の大きなブルワリー建設が可能な場所探しに難航しましたが、桑園エリアに2022年にストリートライト・ブルーイングが完成。翌年から本格的な醸造が始まり、醸造所を眺めながら過ごせるタブルーム(ビアバー)もオープンしました。

ブランド名でもあるストリートライトとは、街灯のこと。「グラスに注がれるビールは、街に降り注ぐ光。飲んだ人の心が明るくはずみ、その明るさが街に広がっていくようなビールでありたい」と大阪さんは説明します。



~Assignment~

開業までの課題・解決方法



「開業までの一番の課題は、やはり資金調達。人のご縁で北海道信用保証協会の存在を知り、経営サポート会議の開催を依頼し、事業計画を共有させていただきました。

資金の多くは応援をいただいた市民の方々や企業からのファンド出資により調達。残る資金は、金融機関からの融資と、北海道中小企業総合支援センターの小規模企業者等設備貸与制度(割賦販売)により調達が実現しました」と振り返る大阪さん。

このほか北海道イノベーションプラットフォームの取り組みにより、北海道立総合研究機構からビール用大麦に関する情報提供や、さらに、販路拡大のきっかけづくりとして北海道貿易物産振興会が運営する「北海道どさんこプラザ」でのテスト販売制度を活用。「札幌の玄関口であるJR札幌駅にあるどさんこプラザに商品を置いてもらうことで、自分たちのビールを知ってもらえる良い機会になれば」と大阪さんは期待しています。



合同会社札幌醸々 大阪 匡史さん

北海道貿易物産振興会の試み

【商品改善・販路拡大】

~Test~

北海道どさんこプラザでテスト販売を実施

北海道どさんこプラザ札幌店について

「北海道どさんこプラザ」は道産品のオフィシャルなアンテナショップです。全国に店舗を展開していますが、JR札幌駅直結の「北海道どさんこプラザ札幌店」は、食のアイテムを中心に2000品もの道産品がずらりと並んでいます。場所柄、北海道土産を求める観光客や出張者はもちろん、食に関心を持つ来店客も多い人気のスポットです。

北海道どさんこプラザでは道産品の展示や販売を通して、道内企業のマーケティング活動の支援を行っています。その取り組みのひとつが、新商品に対する「テスト販売制度」です。道内各地から申し込みのあった新商品を期間限定に店舗で販売。期間終了後、商品に対するアドバイスを受けられるのが大きな魅力。現場の生の声を元に、今後のマーケティング活動や商品のブラッシュアップに役立てることができます。販売上位商品は定番商品として、引き続き店舗に並びます。また、商品改良後はテスト販売に再チャレンジすることができます。



北海道どさんこプラザ札幌店「新商品テスト販売制度」

- ① 新商品を3か月間店頭で販売。
- ② 売上が好調な商品はさらに3か月間、テスト販売を継続。
- ③ 上位商品は定番商品として引き続き販売。
- ④ テスト販売期間終了後に店舗からのフィードバックやアドバイスが得られる。

01 / 常設を目指し、3ヶ月～6ヶ月のテスト販売を実施 /



テスト販売では最初の3ヶ月間店頭販売し、そのうち上位商品を継続で3ヶ月販売。「テスト販売商品であることはあえて表示せず、ほかの商品と同条件でどれだけ手に取ってもらえるのか、販売につながるのを見ていきます」と同店店長の後藤みなみさん。

02 / 店舗からのフィードバック /

テスト販売期間終了後、その間の販売実績、年齢層や性別といった購入者情報、さらに商品の評判など現場の反応をまとめ、フィードバックするほか、パッケージや価格などの評価を含む店舗からのアドバイスを提供しています。

「どさんこプラザは、商品のブラッシュアップのお手伝いをするのが大きな役割だと考えています。ブランディングや販路拡大に役立てていただけるよう、今後もサポートを続けていきます」と後藤みなみさんは語ります。



北海道どさんこプラザ札幌店 後藤みなみ店長

テスト販売に申し込んだ合同会社札幌醸々の「Standard Line LAGER」と「Standard Line ALE」は、ともに売上上位に！

こだわりのデザインやネーミングのコンセプトをオリジナルのPOPで伝えることで、ストリートライト・ブルーイングの世界観を飲む前から楽しめるのではないかと、というアドバイスがフィードバックされました。

北海道イノベーションプラットフォーム

【3機関の取り組み】

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構



北見農業試験場新庁舎(完成予想図)

ビール用大麦に関する情報提供

- ・品種と生産実態についての情報提供
- ・醸造に利用する場合のアドバイス

道総研の北見農業試験場では道内におけるビール用大麦の生育特性を解明し、栽培適性がある品種を選定するとともに、関係機関と協力して麦芽・醸造品質を評価してきました。これらの知見をもとに、ビール用大麦の品種と生産実態についての情報提供や、醸造に利用する際の注意事項についてのアドバイスを行いました。

公益財団法人
北海道中小企業総合支援センター



経営に関する総合的なコンサルティング

- ・創業計画のブラッシュアップ
- ・小規模企業者等設備貸与制度による支援

北海道中小企業総合支援センター内に設置する経営相談窓口「よろず支援拠点」において、開業資金の調達に係る創業計画のブラッシュアップをサポートするとともに、販売計画及び収支計画等からなる創業計画書の作成を支援しました。また、主要生産設備の導入に要する資金手当てにあっては、一部を当センターの小規模企業者等設備貸与制度(割賦販売)による支援を行いました。

北海道信用保証協会



「北洋銀行ものづくりサステナフェア2024」での商品紹介

金融・経営支援によるサポート

- ・経営相談
- ・経営サポート会議による金融調整
- ・金融機関紹介
- ・ビジネスイベントやラジオ番組での広報支援

大阪様から、クラフトビールの醸造所とタップルームの開業について相談をいただきました。開業にあたり多額の設備投資が必要になることから、一番のハードルは資金調達にありました。当協会では、複数回に亘る経営相談で事業計画のブラッシュアップを行うとともに、資金調達に係る金融機関紹介や、金融機関および支援機関に事業計画等をご理解いただくための経営サポート会議を開催しました。また、北海道イノベーションプラットフォームの構成機関にも協力を仰ぎ、各機関とも連携しながら、開業までのサポートをさせていただきました。開業後はビジネスイベントでの商品紹介、ラジオ番組での広報支援など、今後もさまざまな課題の解決に向け事業者と共に取り組んでまいります。

~Born~

飲んでおいしい、見て楽しい こだわりのビールが誕生。

資金調達・販路拡大など様々な試行錯誤、ビールで街を明るく照らしたいという熱い想い。こうした中、ストリートライト・ブルーイングは醸造を重ねています。

「何にも縛られない自由な表現がクラフトビールの魅力」と醸造を一手に担う川村さん。多種多様なスタイルだけではなく、きれいな飲み心地の良さも多くの人を惹き付けています。

銘柄のネーミングやラベルのデザインもまた魅力的。なかには札幌を中心としたアーティストとコラボレーションしたものもあります。デザインのコンセプトを知ること、より味わい深いビールとなることでしょう。

様々なイベントにも出店されているストリートライト・ブルーイング。味に加え、デザインの魅力も発信し、更なるビールファン獲得を目指します。



ハスカップや桑園エリアで養蜂したハチミツを副原料としたビールなどオリジナリティ溢れる商品を販売してきました。今後も地域とのつながりを活かしたビールが登場予定です。



中央の2缶は、北海道さんこプラザにてテスト販売された商品です。



札幌にお越しの際は、工場併設のタップルームにもぜひ！醸造設備を眺めながらビールをお楽しみいただけます。



~Enjoy~

人とビールをつなぐタップルームという場づくり。



ストリートライト・ブルーイングとタップルームがある桑園エリアは、JR札幌駅からひと駅。新しいマンションが建ち、人口が増えている一方で、札幌市中央卸売市場を核として対面販売のお店や問屋が残る、新旧の個性がゆるやかに重なり合うエリアでもあります。地域の人も市民も旅行者も、誰もがふらっと立ち寄れて、ここに来ると楽しいコトやおいしい時間が待っていそうと思ってもらえる場にしたいと考えています。

タップルームでは常時10種類以上のビールを提供。ストリートライトだから、この地域だから味わえる一杯、いかがですか？

代表者 大阪 匡史 / 川村 洋平 / 宮口 晃一

H P <https://shop.streetlight.jp>

Taproom 060-0010 札幌市中央区北10条西19丁目1-1

月～金 15:00～21:00

土日祝 12:00～20:00

定休日 なし

(営業時間の変更や臨時休業などのご案内はSNSでお知らせします)

オンラインショップはこちらから！



6缶パック購入

12缶パック購入



お問い合わせはどの機関からでも可能です。



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

お問い合わせ

総合相談窓口（法人本部）

TEL.011-747-2900

E-mail hq-soudan@hro.or.jp
HP <https://www.hro.or.jp/>



公益財団法人
北海道中小企業総合支援センター

お問い合わせ

札幌本部（経営支援部） TEL.011-232-2402
道南支部 TEL.0138-86-6695 十勝支部 TEL.0155-67-4515
釧路支部 TEL.0154-64-5563 道北支部 TEL.0166-68-2750
日胆支部 TEL.0143-47-6410 オホーツク支部 TEL.0157-31-1123

HP <https://www.hsc.or.jp>



一般社団法人
北海道貿易物産振興会
Hokkaido Boeki-Bussan Shinkokai

お問い合わせ

本部事務局

TEL.011-251-7976

HP <https://dousanhin.jp>



北海道信用保証協会

お問い合わせ

本店（企業支援課） TEL.011-241-5605 函館支店 TEL.0138-23-8425
帯広支店 TEL.0155-24-3658 北見支店 TEL.0157-24-5196
小樽支店 TEL.0134-22-5188 旭川支店 TEL.0166-24-1441
釧路支店 TEL.0154-23-1361 室蘭支店 TEL.0143-45-6001
滝川支店 TEL.0125-23-1201 苫小牧支店 TEL.0144-33-1751

HP <https://www.cgc-hokkaido.or.jp>



発行



北海道信用保証協会

（北海道イノベーションプラットフォーム事務局）

2024年9月